

入湯税超過課税分充当事業
令和6年度 事業報告書

別府市

入湯税超過課税分の使途 “5本の柱”

- 1 温泉資源の保護、確保 2
 - (1) セーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査 2
 - (2) 地下水の現状調査 2
 - (3) 別府市給湯事業見直し 3
 - (4) 市営温泉の衛生管理強化 3
 - (5) 共同温泉改修等補助金 3
- 2 観光客の快適性確保（ストレスフリー） 4
 - (1) 別府オリジナル宿泊予約サイト運営事業 4
- 3 観光客の安全・安心の確保 5
 - (1) ワンダーコンパス別府運営事業 5
- 4 観光客を増加させるための事業推進 5
 - (1) 別府版 DMO 機能充実のための新規人材の雇用 5
 - (2) 観光マーケットター育成事業 6
 - (3) 海外旅行会社とのネットワーク構築（ランドオペレーター）事業 7
 - (4) 腸内環境タイプに基づいた泉質パーソナライズ研究事業 7
- 5 観光客の受入体制の充実 8
 - (1) 別府観光 PR ポスター制作事業 8
 - (2) 十文字原展望台整備事業 9
 - (3) トイレ整備費及び除草作業等景観維持費用 9

別府市入湯税の超過課税分の使途に関する審議会条例第2条各号に関連する事業として、下記事業を実施した。

1 温泉資源の保護、確保

(1) セーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査

[決算額 1,612 千円]

① 事業目的

温泉資源保護及び市民への啓発のため、市有源泉を中心に実施している源泉の定点観測調査を実施し、民間事業者の源泉を含めたデータを蓄積するとともに、市民の温泉資源保護に対する意識を向上させる。

② 事業内容

市民参加型の温泉資源の定点観測調査を行い、継続的に経年変化の有無等を確認するため、温泉水のサンプル採取、温泉水の温度及び電気伝導度測定の調査を実施する。

③ 事業実績

平成 28 年度から開始した市民参加型の定点観測調査は、温泉水のサンプル採取、温泉水の温度及び電気伝導度測定の調査を実施した。普段から別府の温泉を利用している人に、温泉調査を体験してもらい、温泉に科学の側面から触れていただくとともに、資源としての温泉を考えてもらう機会を作ることができた。

参加者 38 名が市内 78 施設で 99 か所の源泉から温泉水を採取し、採取した温泉のサンプルは、専門の分析機関に依頼して、7 つのイオン分析を行い、継続的なデータの蓄積を図った。一斉調査で得られた過去のデータは、広く一般に公開し、基礎的な情報を提供することを目的として、「セーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査 Web マップ」をホームページにおいて公開している。

https://www.city.beppu.oita.jp/sangyou/onsen/seno_isseichosa.html

また、令和 6 年度は夏休み期間に、市営堀田温泉にて市内小学生を対象にした温泉体験学習を開催し、小学生 5・6 年生とその保護者など 22 名が参加し、「源泉の見学」と「温泉成分の簡易分析」の 2 つの体験学習を実施することにより、温泉を科学的に学ぶ機会を提供した。

(2) 地下水の現状調査

[決算額 9,996 千円]

① 事業目的

温泉資源に必要な地下水に関するデータが不足しているため、地下水の利用状況を把握し、温泉資源の保護施策の基礎資料とする。

② 事業内容

別府市の地下水の状況に関する調査研究について、京都大学の受託研究事業により実施する。

③ 事業実績

令和 2 年度から継続して、別府市の地下水の状況に関する調査研究を受託研究事業により行った。令和 6 年度は、別府地域の地下水を直接の研究対象とし、「水

同位体による地下水の涵養標高の推定」の研究によって、別府地域で湧水や井戸水として地表に現れる地下水が、どのくらいの標高で涵養されているか具体的な数値として示すことができた。また、その涵養標高と流出標高の解析によって涵養から流出に至る流動系の異なる地下水系の存在が確認できた。「VLF 電磁探査による地下比抵抗構造の調査」の研究では、11 測線において地下の比抵抗構造を求めることができた。

(3) 別府市給湯事業見直し

[決算額 25,300 千円]

① 事業目的

市有泉源から市有温泉や共同温泉その他公用又は公共用温泉などへ温泉を供給する別府市給湯事業を見直し、温泉の安定供給を図るとともに温泉資源の保護につなげる。

② 事業内容

別府市が行う温泉給湯事業の給湯路線（6 路線：総延長約 46 km）の現状分析を行うとともに、効率的な運用を図るための見直し案を策定し、適切な維持管理・修繕・更新を行う。

③ 事業実績

温泉資源の効果的な利用と保護を図ることを踏まえ、別府市が所有する温泉管等の更新などに必要な措置として、年次計画を策定するための基礎調査等を実施した。

(4) 市営温泉の衛生管理強化

[決算額 489 千円]

① 事業目的

温泉施設に義務付けられている年 1 回のレジオネラ属菌検査について、任意での検査を 1 回追加し、市営温泉の衛生管理の強化を図る。

② 事業内容

法令等で定める基準以上で実施している市営温泉の全浴槽及び貯湯槽の水質検査を、任意で 1 回追加して、法定検査、任意検査の年 2 回実施する。

③ 事業実績

市営温泉 16 施設の水質検査（レジオネラ属菌検査）を実施した。

(5) 共同温泉改修等補助金

[決算額 2,111 千円]

① 事業目的

共同温泉から要望の多い、温泉運営に支障のある軽微な補修、手すりや浴槽内段差設置といったバリアフリー対応に関し、即応性の高い予算執行を可能とする。

② 事業内容

市有区営温泉のうち、立ち寄り入浴のできる共同温泉において、温泉利用に資する部分に係る急を要する改修、手すりの設置等バリアフリー対策、その他観光客の入浴のための施設整備に要した経費に対し、補助金を交付する。

③ 事業実績

市有区営温泉に対し 11 件の補助金を交付した。

(令和 6 年度補助金交付実績)

No.	種別	事業内容	補助金額
1	施設改修	温泉改修（浴槽縁補修外）	62,200 円
2	施設改修	温泉改修（ブロック塀積替）	209,000 円
3	施設改修・観光客入浴対策	温泉改修（防犯カメラ設置外）	300,000 円
4	施設改修	温泉改修（浴槽タイル補修）	300,000 円
5	施設改修	温泉改修（貯水タンク取替）	300,000 円
6	施設改修	温泉改修（板塀改修外）	297,100 円
7	施設改修	温泉改修（電気配線）	118,700 円
8	施設改修	温泉改修（排水ポンプ取替）	112,200 円
9	施設改修	温泉改修（目隠壁設置外）	163,600 円
10	施設改修	温泉改修（タイムスイッチ取替）	26,400 円
11	施設改修	温泉改修（浴槽内床貼替）	221,600 円

【事業評価】

市民参加型の「セーので測ろう！別府市全域温泉一斉調査」には 38 名が参加し、前年度を上回る 99 箇所の温泉データを取得するとともに、今回から小学生を対象とした夏休み温泉体験学習を別途開催し、温泉資源の保護について学ぶ機会の充実を図った。「地下水の現状調査」及び「別府市給湯事業見直し」については、温泉資源の保護・確保に向けた現状分析等を行うことができた。また、「共同温泉環境整備等補助金」については、貯水タンクの取り換えなど 11 件の補助金を交付し、施設の緊急改修等の実施に寄与することができた。次年度以降も、将来にわたって持続可能な温泉事業の実現に向け、引き続き温泉資源の保護及び共同温泉文化の継承に取り組んでいく。

2 観光客の快適性確保（ストレスフリー）

(1) 別府オリジナル宿泊予約サイト運営事業

[決算額 13,204 千円]

① 事業目的（サイトリニューアルに伴い年度途中で目的を変更）

予約に関するサービスを集約したプラットフォームの開設。別府市公式旅行会社として別府に関するオリジナル旅行プランを提供するとともに、ご希望に応じて手配を行うなど旅行者に寄り添ったサービスの充実を目的とする。

② 事業内容（サイトリニューアルに伴い年度途中で目的を変更）

国内プロモーションの着地点として、別府旅行に関するプランの提供及び手配を行う。また、周遊パスサービスなどのコンテンツの販売を行う。

③ 事業実績

・プラン相談数 99 件、ご成約 9 件（9～3 月）

・周遊パスポート利用者数 1,852人

【事業評価】

宿泊予約サービスから旅行プラン提案及び手配サービスに変更することにより固定費の削減に繋がったことに加え、サイトの方向性が定まった。リニューアル初年度であったがサービス利用者が少しずつ増え、属性や動向などのデータが溜りつつあるので、次年度は旅行業2種を活かし募集型のツアー開発や催行に繋げたい。

3 観光客の安全・安心の確保

(1) ワンダーコンパス別府運営事業

[決算額 20,996 千円]

① 事業目的

外国人観光客に対応できる観光案内所「駅前情報発信 café (ワンダーコンパス別府)」の運営強化を目的とする。

② 事業内容

- ・外国人観光客へ向けた情報提供及び情報収集
- ・外国へ向けた別府観光の情報発信
- ・外国人観光客同士の情報交換ほか

③ 事業実績

来場者数：150,373 名（令和4年度 41,410 名、令和5年度 157,743 名）

運営体制：常駐 4 名

営業時間：8:45～18:00

サービス：案内業務及び各種チケットの販売、レンタサイクル、レンタル車椅子ベビーカー、手荷物の預かり、SIM カード販売ほか各種サービスの提供

その他：他自治体の観光等ポスター・チラシの設置

【事業評価】

日本政府観光局(JNTO)が毎年行っている全国観光案内所表彰「ホスピタリティ部門」で表彰を受け、2年前の「地域連携部門」に続く2度目の全国表彰を受けた。案内所での顧客満足度を向上させるためスタッフが協力して多言語で対応していることをInstagramの動画で紹介したことが評価された。全国的に問題化しているオーバーツーリズム対策として、市内バスの乗客の乗降をスムーズにするために、バスパスの販売や、人気観光地の入場券を販売して行列に並ぶロスタイムを解消することに努めた。

4 観光客を増加させるための事業推進

(1) 別府版 DM0 機能充実のための新規人材の雇用

[決算額 3,300 千円]

① 事業目的

まちに根差した地域づくりとエビデンスに基づいた観光地戦略を実施することにより、「別府の稼ぐ力」を向上させることを目的とする。

② 事業内容

補助金案件に係る情報収集及び企画案、企画書作成補助業務の委託、商品、施設の開発案件に対するプロジェクト支援業務。

③ 事業実績

・観光庁補助金：オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業コンサル（採択）※別府におけるオーバーツーリズムの未然防止対策として、別府市のもつコンテンツを最大限に生かした政策の提案。

・Web サイトで朝、夜におすすめスポット紹介記事

・周遊施策として、べっぴ周遊パスのプロモーション実施

・別府にくるお客様にその人にあったプランを提案するオーダーメイド型別府オーダーメイド旅プランの実装

・観光客と地元民とのオーバーツーリズムの理解度を高め、別府温泉を観光客と地元民で実施する「共同浴場掃除体験ツアー、共同浴場写真展、座談会」を実施。

(2) 観光マーケットター育成事業

[決算額 7,974 千円]

① 事業目的

まちに根差した地域づくりとエビデンスに基づいた観光地戦略を描ける人材の雇用を目的とする。

② 事業内容

別府市のマーケティングを行う人材が必要なことから、APU（立命館アジア太平洋大学）等で観光マーケティングを履修している学生をインターンシップとして受け入れ、現場でその実践機会を提供する。

③ 事業実績

	育成方針	実績
 APU (Eさん)	(実践を通して学ぶ) APUとB-bizLINKが連携し、別府駅の観光案内所にてまちとの接点を持ち学びのサイクルを生み、視点を変えて実践に取り組み別府の課題解決に寄与する。	今年のミッションは「コレ、あったらいいな👉」とし外国人旅行者に向けて提案できるものを形にすることとした。インプットとアウトプットを繰り返すことで仮説検証を行うことを別府の観光現場で実践した。 ①まち歩き・別府視察…海地獄、かまど地獄、ひょうたん温泉、香りの博物館、別府温泉名人会活動、インバウンドツアーに同行。 ②ヒアリング・インタビュー…別府駅観光案内所WANDER COMPASS別府において旅行者にヒアリング・インタビューをし、別府での困りごとなどヒントを探る。 ③別府市外他地域視察…丹波篠山と北九州を視察。他地域の方の考えにふれることで、凝り固まった視点にとらわれない観光マーケットターとして必要な客観視できる力の醸成を行った。 ④別府市内外部研修…インバウンド業界に長く携わるGlid japan 井手氏との論議 ⑤仮説検証を繰り返しアップデート…コレあったらいいなを形に。市内、県内イベントポスター・香りの体験・お土産マップなど、観光客に喜ばれるものを造成。
 APU (Kさん)		
 APU (Jさん)		

(具体的実績)

3年目となる本事業は、別府の観光施設、温泉施設のコレあったらいいなを探るため、インプットして学んでいき、課題を解決する施策をアウトプットしてくれた。

仮説検証を繰り返し行い、別府のことを深く知ることによって観光マーケットターの視点を持ち、別府に対する関心度の高い学生を育てることができた。

※当観光人材育成プログラムの実践を終え、3名それぞれが学んだことの発表

会を実施。

(3) 海外旅行会社とのネットワーク構築（ランドオペレーター）事業

[決算額 7,920 千円]

① 事業目的

訪日旅行を取り扱う海外旅行会社に対し、幅広いアプローチを行い、外国人観光客増加及び海外旅行会社との連携を促進する。

② 事業内容

訪日観光市場の最前線で活動する企業等と連携し、訪日旅行を取り扱う海外旅行会社に対して幅広いアプローチを行う。

③ 事業実績

○ 集客(2024 年)

145 ツアー、約 950 名、国：豪州、シンガポール、米国、ドイツ、イタリア

○ ランドオペレーター業務

海外から別府を含むツアーの造成、各国旅行会社との営業セールス

商談数: 198 商談

商談国: 豪州、シンガポール、香港、米国、カナダ、ドイツ、英国など

(ツアー実績)

・豪州の旅行会社 Ignite Travel と別府を含むツアーを 2024 年度 14 ツアー催行。

2025 年度に 25 ツアー造成

・豪州の旅行会社 Intrepid Travel と 2024 年に 28 ツアーを催行、2025 年度 34 ツアー造成。※別府の宿泊が 1 泊から 2 泊へ増加

・豪州の旅行会社 MW Tours より 7 ツアー(個人客 6 ツアー , ハイキング 1 ツアー) 集客新規 のツアーを造成

・豪州の旅行会社 Bunnik Tours と 2025 年度の新規造成 12 ツアー(別府 2 泊)

・シンガポールの旅行会社 Intriq Journey から 5 ツアー催行(別府 2 泊から 3 泊)

・シンガポールの旅行会社 Amala Destinations から 1 ツアー催行(別府 3 泊)

・シンガポールの旅行会社 Michi & Co から 1 ツアー催行(別府 3 泊)

・イタリアの旅行会社 Sabu Viaggi di ILY TRAVEL S.r.l. から 1 ツアー催行(別府 2 泊)

・ドイツの旅行会社 Unterwegs - individuelles Reisen から 1 ツアー催行(別府 2 泊)

・ドイツの旅行会社 GEO Plan から 1 ツアー催行(別府 2 泊) その他、2025 年度のツアーを 22 案件予約

(4) 腸内環境タイプに基づいた泉質パーソナライズ研究事業

[決算額 48,449 千円]

① 事業目的

温泉入浴による腸内細菌叢への影響を分析し、個人の腸内環境タイプに基づいた最適な泉質を提案する仕組み(パーソナライズレコメンド)を開発し、市民・観光客の健康増進および新湯治・ウェルネスの推進を図る。

② 事業内容

異なる泉質の温泉に入浴することにより、個々が保有する腸内細菌叢に変動が

見られることから、泉質ごとの変化を臨床試験で調査・分析し、腸内環境タイプに基づく推奨泉質を提案する仕組みをつくる。

③ 事業実績

令和6年度は単純泉・炭酸水素塩泉・硫黄泉の3泉質における臨床試験、分析調査として、被験者60名を対象に入浴前後のアンケートや採便などを主とした実証実験を実施した。

令和6年度に得られたデータについては現在分析中であるが、それと並行して、7年度も同様に2泉質での調査を実施するとともに、個人の腸内環境タイプに基づいた泉質を提案する仕組みやプログラムの開発を令和8年度までに造成することとしている。

【事業評価】

主にオーストラリアからのツアーを引き込めたことに対し、コロナ中に続けたオーストラリアへの情報発信が実を結んだ年だった。引き続き商談及びセールスを行いツアー数の増を図りたい。また、高単価ツアーの造成及び販売に向け仕込みを行いたい。また、別府市におけるオーバーツーリズムの未然防止対策として、別府市のもつコンテンツを最大限に生かした施策が出来たことと、その財源の確保も同時に出来たことにより、当初予定していなかった規模の事業が可能となった。計画策定、財源確保、施策の実施まで一貫して行う事ができたことについてDMOの役割を果たしていると評価できる。人材育成プログラムを通じ仮説検証を繰り返すことにより観光マーケティングを学び、マーケットとしての視点を持つことができる人材の育成ができたことは評価できるが、別府でどのような活躍の場を提供できるかが課題である。

腸内環境タイプに基づいた泉質パーソナライズ研究事業については、令和6年度に単純泉・炭酸水素塩泉・硫黄泉の3泉質にて最終被験者60名を対象に実証実験を実施した。令和7年度は塩化物泉・酸性泉の2泉質にて同様の実証実験を行い、腸内細菌叢・短鎖脂肪酸・排便状況・ストレス等の変動を解析することを予定している。本事業にて温泉がもたらす腸内細菌叢への影響を多様なデータとして得られることから、今後の新湯治・ウェルネスの展開への活用が期待できる。

5 観光客の受入体制の充実

(1) 別府観光PRポスター制作事業

[決算額 1,043 千円]

① 事業目的

情報発信媒体として、令和4年度に観光公式ホームページを更新し、令和5年度にパンフレットの更新を進めている中で、観光PRポスターについても更新することで、情報発信の強化等を図る。

② 事業内容

別府を総称する観光PRポスターを観光公式ホームページ及びパンフレットとリンクしたデザインで制作することで情報発信分野に統一感を持たせ、宿泊施設・観光施設等へ配布及び掲示する。ポスターからホームページへ誘導するなど、旅マエ、旅ナカ情報の発信力を強化する。

③ 事業実績

令和7年1月に4種類のデザインを決定し、同年3月にポスターを印刷実施した。デザインの決定にあたっては、市内の観光関連団体やAPUの学生等に選考委員としてご意見いただいた。

完成したポスターについては、市内観光施設や観光案内所、観光関連団体へ配布した。その後も随時、要望に応じて、広報資材として提供や観光出展等の際に展示を実施している。

(2) 十文字原展望台整備事業

[決算額 3,465 千円]

① 事業目的

別府市を代表する展望施設である十文字原展望台のトイレ等を整備し、受入体制の強化を図るとともに、利用者の利便性の向上を図る。

② 事業内容

現在、男女共用となっている十文字原展望台のトイレについて、利用者状況等の調査を行ったうえで、バリアフリー対応など利用者目線での整備を行う。

③ 事業実績

利用実態調査や土地の測定等を実施し、計画条件や課題等の整理を行い、再整備に向けた基本構想・計画を策定できた。

(3) トイレ整備費及び除草作業等景観維持費用

[決算額 3,028 千円]

① 事業目的

トイレの改修・整備や道路の除草作業等を行うことにより、おもてなしの向上を図る。

② 事業内容

トイレの改修・整備や、国道や県道といった所管以外施設の除草作業等を実施する。

③ 事業実績

- ・ 志高湖女子便所等のトイレの洋便器化等
- ・ 観海寺みゆき坂公園のベンチ設置等
- ・ 湯けむり展望台等の樹木剪定等

【事業評価】

例年に引き続き、観光客が多く利用する公園等の樹木剪定や除草、各種トイレの改修、駐車場整備やベンチの設置等を実施することで、観光客が施設を訪れた際の満足度上昇と安全性の確保が図られた。またポスターの刷新により旅マエ、旅ナカ情報の発信力が強化された。十文字原展望台整備については、次年度以降の再整備に向けた事前調査を実施し、基本構想・計画を策定できた。